

かめやま 見てある記



こんにゃく芋

広報サポーター 松村 正さん



野菜畑の片隅に細長く伸びた約1mの茎に濃い紫色をしたきれいな花が咲いている。気品を感じます。4、5年に一度しか咲かない花、そんな特性を持つ植物がこんにゃくです。栽培について、萩原地区の農家 飯田十四生さんに伺ってみました。

「種芋は、植え付けた1年目はピンポン玉ほどの大きさですが、3年目になると握りこぶしほどになる。5年目の秋には約1kgの芋になり食べごろを迎える」と収穫までの成長の様子が聞けました。また、「あまり手間の掛からない作物で、肥料を与えるのは年に1回、半日陰の場所で良い芋が出来る」と経験談も交えて話されました。とれた芋で作ったこんにゃくは、さしみこんにゃくや白和え、煮ものなど、一品一品違った味で楽しめるそうで、「箸が止まらない。うまい」と笑顔で話されました。

萩原サロンの会員のこんにゃく



作りの話を伺うと、「手作りこんにゃくは、レシピを見て作りました。食感が良く、ショウガたまりで食べるのが最高においしかった」と笑顔いっぱい。また「こんにゃく芋は、あくが強く手がかゆくなる。熱湯でのやけど防止にもなるので、必ずゴム手袋を着けます」と注意点も聞けました。今はコロナ禍で活動を休止しているそうですが、新型コロナが収束したら、こんにゃく作りのほかにお菓子作りや手芸などをしながら会話できる日が来るのを楽しみに待っていると、希望を持つ笑顔が印象的でした。



ハロキッズ

このコーナーでは、元気な亀山っ子の写真を募集しています。掲載を希望する人は、広報秘書グループ（☎84-5021）へご連絡ください。



萩原 はぎわら

結香 ゆうか

ちゃん 平成28年4月20日生まれ

乳酸菌飲料を飲むときのクセがつよい



楠田 くすだ

朔也 さくや

くん 令和2年8月28日生まれ

元気に育ってね！